

アポロ

作詞 ハルイチ
作曲 ak.homma
唄 ポルノグラフィティ

僕らの生まれてくるずっとずっと前にはもう
アポロ11号は月に行ったっていうのに

みんながチェック入ってる限定の君の腕時計はデジタル仕様
それって僕のよりはやく進んで本当かい?ただ壊れてる

空を覆う巨大な広告塔には
ビジョンが意味ありげなビショウ
赤い赤い口紅でさあ

僕らの生まれてくるずっとずっと前にはもう
アポロ11号は月に行ったっていうのに
僕らはこの街がまだジャングルだった頃から
変わらない愛のかたち探してる

大統領の名前なんてさ 覚えてなくてもね いいけれど
せめて自分の信じてた夢ぐらいはどうか覚えていて

地下を巡る情報に振りまわされるのは
ビジョンが曖昧なんデショウ
頭ん中バグっちゃってさあ

僕らの生まれてくるもっともっと前にはもう
アポロ計画はスタートしていたんだろ?
本気で月に行こうって考えたんだろ?うね
なんだか愛の理想みたいだね

このままのスピードで世界がまわったら
アポロ100号はどこまで行けるんだろ?
離ればなれになった悲しい恋人たちの
ラブ・E・メール・フロム・ビーナスなんて素敵ね

僕らの生まれてくるずっとずっと前にはもう
アポロ11号は月に行ったっていうのに
僕らはこの街がまだジャングルだった頃から
変わらない愛のかたち探してる



アポロ

これは、ポルノグラフィティというグループのデビュー曲で、結構ヒットした「アポロ」という曲です。(最近リバイバルヒット)歌詞を読んで、この歌が作られたのは、いつの頃だったのか予想してみましょう。

予想

- ア アポロ 11 号月着陸よりも前 ~ 1969
- イ 月着陸の年 1969
- ウ 月着陸から最後のアポロ 17 号の間 1970 ~ 1972
- エ アポロ計画終了後 1973 ~

Study hard!

「ボクらの生まれてくるずっとずっと前にはもう、アポロ 11 号は月に行ったっていうのに」という歌がラジオから流れてきました。「おお、これは《宇宙への道》の授業に使えるかなあ」と調べてみました。

これは、ポルノグラフィティの「アポロ」という曲なのですが、実はこの歌は彼らの 1999 年のデビュー曲だそうです。歌詞には「アポロ 100 号はどこまで行けるんだろ?」というのがありますが、アポロ計画の最後は 1972 年のアポロ 17 号で、その時の宇宙飛行士は「私は人類最後の足跡を月面に残し、地球に帰ります」との言葉を残しています。また、そのとき月面に「ここに人類最初の月面探検は完結する。西暦 1972 年 12 月。平和の精神が、全人類の生に反映せんことを願って」と書かれた銘版を残してきました。

というわけで、歌詞の内容と史実とは全然合っていない……。作者は、1999 年当時、アポロ計画がその 30 年近く前に終了していたことを知らなかったのでしょうか。「腕時計



がデジタルで珍しい」みたいな歌詞がありますが、世界初のデジタル式腕時計は、1970 年、米国のハミルトン社が発売した「パルサー」(\$500、

日本では 30 万円ぐらい?) です。しかし、おそらく歌詞で言及しているのは、日本初のデジタル式腕時計である、1974 年にシチズンが発売した「クォーツ リキッドクリスタル」(9.8



万円)以降のことでしょう。だとすると、日本でデジタル式腕時計が売られ始めるようになった頃には、やはりアポロ計画は終了していますので、歌詞の内容はおかしいことになりますねえ。

まあ話題にはなるか・・・。

仮説実験授業研究会・北海道
丸山秀一 2009.11.28